



第 013 号 2020 年 7 月 18 日 桑田茜

オンラインミーティングからスマートに去る方法

この春は人と直接会うことが困難になり、遠隔でのミーティングのことが話題に上ることが増えました。私は残念ながら流行に乗り損ねてしまいましたが、夫はオンライン会議にはずいぶん慣れたようです。慣れたところで、オンライン飲み会も行われました。ところがこちらは我が家では大問題でした。

コロナ禍以前は、週に2度は小さな居酒屋で、お酒を飲んでおしゃべりすることを生きがいとしていた夫です。自粛が続くなか「オンライン飲み会をすることになった」と聞いたときは、少しはストレス解消になるだろうと私も喜びました。

当日、画面の前でビールを飲む夫。誰もがそうだと思いますが、酔いがまわってくると、声の大きさに頓着しなくなります。ゴキゲンな夫の様子に一抹の不安が。何度か「もうちょっとボリューム落として。近所迷惑だよ！」と合図しても少しも変わりません(イヤホンが耳に入っているので聞こえません)。さらに、夜中の1時に近づいても終わる気配がありません。さすがに私の怒りが爆発しました。

終わる時間を決められないのか、声をもう少し小さくできないのかと、クレームをつけましたが、うまくいきそうにありません。世のオンライン飲み会はどのように解散しているのでしょうか。それがいま一番知りたいことです。

桑田 茜 (デナリパブリッシング株式会社・編集)